

伝統芸能文化センターの 実現を目指して

2007年度から2016年度までの取組

伝統芸能文化アーカイブ&リサーチオフィス

〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2 京都芸術センター内

伝統芸能文化センターの実現を目指して

2007年度から2016年度までの取組

目次	2016年度までの伝統芸能文化センターの実現に向けた取組	02
	沿革	03
	「京都創生座」と「五感で感じる和の文化事業」について	04
<hr/>		
	京都創生座	05
	2007年度 京の芸は百花繚乱	06
	京の芸は百花繚乱～華競源平絵姿～	07
	2008年度 四神記―神降る都の物語―	08
	2009年度 (五感で感じる和の文化事業) 四神記―神降る都の物語―	08
	2010年度 (五感で感じる和の文化事業) 舞扇要結縁	09
	2011年度 (五感で感じる和の文化事業) 創生座かるてつと	10
	(五感で感じる和の文化事業)〈番外編〉	
	伝統芸能バリエーション～キュピキュピと伝統芸能の女たち～	11
	(五感で感じる和の文化事業) 邦楽アンサンブル	12
	(五感で感じる和の文化事業)〈受託事業〉能の流派みくらべ公演	
	京都能楽あじくらべ―いちどにたのしむ観世と金剛	13
	(五感で感じる和の文化事業)〈受託事業〉	
	京都創生 PR 事業「京あるき in 東京 2012」	14
	2012年度 (五感で感じる和の文化事業) 四神記―神降る都の物語―	14
	(五感で感じる和の文化事業)〈海外発信〉モスクワ公演	
	四神記―神降る都の物語―	16
	(五感で感じる和の文化事業)〈受託事業〉	
	京都創生 PR 事業「京あるき in 東京 2013」	17
	2013年度 (五感で感じる和の文化事業)〈海外発信〉モスクワ公演	
	長唄―歌舞伎音楽	17
	(五感で感じる和の文化事業)〈受託事業〉能の流派みくらべ公演	
	謡う宝生、舞う金剛	18
<hr/>		
	五感で感じる和の文化事業	19
	創生劇場	
	2014年度 〈受託事業〉能の流派みくらべ公演	
	金春流と金剛流～下掛りの極み～	20
	〈受託事業〉京都創生 PR 事業「京あるき in 東京 2015」	21
	Ophelia Glass -暗黒ハムレット-	21
	2015年度 〈受託事業〉能の流派みくらべ公演	
	観喜能 KANKINOH	23
	Traditional Trial #1 歌舞伎舞踊×西洋音楽	24
	Traditional Trial #2 狂言×中国変面『からくり人形』	25
	2016年度 〈受託事業〉Traditional Trial ～能、狂言プラス～	26
	やわらかなかぐら	27
	伝統芸能ことはじめ(2008年度～2016年度)	28
	伝統芸能みくらべ公演(2013年度)	30
	月イチ☆古典芸能シリーズ(2013年度～2016年度)	31
	先覚に聴く(2015年度～2016年度)	33

2016年度までの伝統芸能文化センターの実現に向けた取組

京都市は、2004年度の「歴史都市・京都創生策（案）」で「国立伝統芸能文化センター」（以下、センター）の整備構想を提起して以来、日本の伝統芸能文化の継承・創造の拠点施設としてのセンターの実現を目指した取組を継続的に行ってきました。

2006年度には、京都におけるセンター整備を国に要望し（歴史都市・京都創生策Ⅱ）、国立のセンターの整備を京都市の文化芸術政策の重点課題として位置づけました（京都文化芸術都市創生計画）。翌年度の2007年度には、伝統芸能の保存・継承、いまある伝統芸能の中から新しい表現の創出、国内外への発信といったセンターが備えるべき機能を明らかにするモデル事業として、伝統芸能の舞台公演事業「京都創生座」を開始しました。2008年度には歌舞伎や文楽、落語等に関する講座「伝統芸能ことはじめ」を開催し、2009年度からは公演事業だけでなくより広い枠組みの「五感で感じる和の文化事業」として、市民への普及活動にも力を入れてきました。

2011年度、センターの具体的な構想をまとめた「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）基本構想（素案）」を策定しました。これを受けて「五感で感じる和の文化事業」では、伝統芸能文化（古典芸能、民俗芸能、それらに係わる楽器・用具用品、材料や伝統工芸技術等）に関するレクチャー「月イチ☆古典芸能シリーズ」や、人間国宝や技芸・芸道の第一人者を招いたトークイベント「先覚に聴く」といった新規事業を開始し、伝統芸能文化全体を視野に入れて展開してきました。

2017年度より

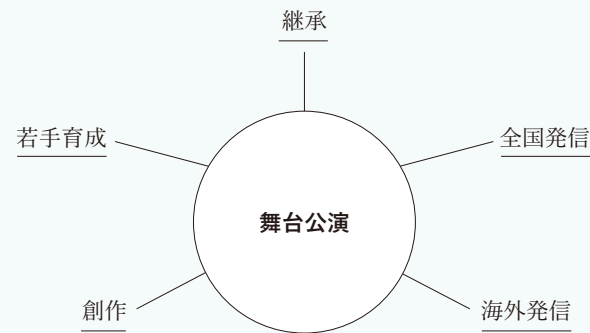
以上の成果を引き継ぎ、センターが備えるべき機能を更に強化するため、伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス（Traditional Arts Archive & Research Office、略称 TARO）を設置し、センターの実現に向けて集中的に取り組む「伝統芸能文化創生プロジェクト」を開始します。

沿革

年度	主な内容
2003年度	京都創生懇談会より「国家戦略としての京都創生の提言」提出
2004年度	「歴史都市・京都創生策（案）」策定
2006年度	京都創生研究会「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）」分科会を設置し、18年度～20年度まで検討（全9回開催） 「歴史都市・京都創生策Ⅱ」策定→国へ要望 「京都文化芸術都市創生計画」策定 →「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）の整備」が重点課題に
2007年度	「京都創生座」事業の実施（～2013年度）
2009年度	「五感で感じる和の文化事業」の実施（～2016年度）
2011年度	「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）基本構想（素案）」策定 →国へ要望（以降、毎年度要望） 「京都文化芸術都市創生計画」改訂 →重要施策群1：継承と創造に関する人材の育成等に位置付け
2013年度	「創生劇場」の実施（～現在）
2014年度	「京都文化芸術プログラム2020」策定 →プログラムを牽引する重要事業に位置付け
2016年度	「第2期 京都文化芸術都市創生計画」策定 →8つの最重要施策のうちの1つに位置付け
2017年度	「伝統芸能文化創生プロジェクト」の実施 「伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス」設立

	京都創生座		伝統芸能ことはじめ			
2007年度		○				
2008年度		○				○
五感で感じる和の文化事業						
	京都創生座	創生劇場	伝統芸能 ことはじめ	伝統芸能 みくらべ公演	月イチ☆古典芸能 シリーズ	先覚に聴く
2009年度	○		○			
2010年度	○		○			
2011年度	○		○			
2012年度	○		○			
2013年度	○		○	○	○	
2014年度		○	○		○	
2015年度		○	○		○	○
2016年度		○	○		○	○

2007年度～2012年度「京都創生座」について



「京都創生座」は、「伝統芸能文化センター」のイメージを明らかにするモデル事業として実施した、伝統芸能の舞台公演です。伝統芸能の継承はもとより、既存の分野や流派を越えた協働を行うなど、伝統を礎に新たな文化の創造を試み、国内外にその成果を発信するとともに伝統芸能に携わる関係者間の交流を図りました。2009年度から「京都創生座」は「五感で感じる和の文化事業」を構成する要素の一つとなり、2013年度からは役者や演奏家らによるプロジェクト・メンバーが主体となって自主的に活動しています。

2009年度～2016年度「五感で感じる和の文化事業」について

■舞台公演・国内外発信

京都創生座（～2013年度）

京都創生劇場（2014年度～2016年度）

■観客育成（普及・教育）

伝統芸能ことはじめ（～2016年度）

月イチ☆古典芸能シリーズ（2013年度～2016年度）

先覚に聴く（2015年度～）

「五感で感じる和の文化事業」は、「伝統芸能文化センター」に必要とされる機能を具体化したモデル事業として、公演事業だけでなく、観客育成のための講座やレクチャー・トーク、舞台を裏側で支える職人や伝統芸能に係わる工芸技術などの見学ツアーなどにも力を入れました。

京都で継承されてきた古典芸能4分野（能、狂言、邦舞、邦楽）だけでなく、歌舞伎、落語、講談、色物、舞踏、華道、香道といった幅広い芸能文化を扱いました。また、中国の川劇を創作に取り入れた公演や、日本の古典芸能を修行した外国人を講師に招くなど、国際的な視点から見た和の文化の魅力に迫りました。さらに、祇園祭の驚舞や大念佛狂言、雅楽、式庖丁、鬨茶といった民俗芸能・儀礼・芸道・技芸なども含めたより広い枠組みの伝統芸能文化に対する取り組みへの展望を開きました。

京都創生座

京都創生座は、能、狂言、邦舞、邦楽分野による30、40代を中心とした若手伝統芸能家をプロジェクトメンバーに選出し、既存の分野や流派を越えた舞台公演を行いました。

京都に継承されてきた伝統のなかに新しい魅力を生み出し、日本の伝統芸能文化の復興を図るための取り組みです。

プロジェクトメンバー

井口はる菜（邦楽）、岡田道明（尺八）、片山伸吾（能・シテ方）、杵屋浩基（長唄三味線）、茂山茂（狂言）、谷口正壽（能・大鼓方）、豊嶋晃嗣（能・シテ方）、中村壽慶（鳴物）、西川影戀（日本舞踊）、野田友紀（邦楽）、大谷みどり（舞台）、平山聡子（脚本）、前原和比古（演出・舞台）、宮島靖和（照明）、山本麻友美（京都芸術センター）

事業履歴

2007年度 「京の芸は百花繚乱」

「京の芸は百花繚乱—華競源平絵姿」

2008年度 第1回公演「四神記—神降る都の物語—」

*以降「五感で感じる和の文化事業」の一事業となる。

2009年度 第2回東京公演「四神記—神降る都の物語—」

2010年度 「舞扇要結縁」

2011年度 「創生座かるてつと」

番外編伝統芸能バリエーション～キュピキュピと伝統芸能の女たち～

「邦楽アンサンブル」

〈受託事業〉京都能楽あじくらべ—いちどにたのしむ観世と金剛

〈受託事業〉京都創生 PR 事業「京あるき in 東京 2012」

2012年度 第3回公演「四神記—神降る都の物語—」

〈海外発信〉モスクワ公演「四神記—神降る都の物語—」

〈受託事業〉京都創生 PR 事業「京あるき in 東京 2013」

2013年度 〈海外発信〉モスクワ公演「長唄—歌舞伎音楽」

〈受託事業〉「謡う宝生、舞う金剛」

京都創生座	2007年度	第1回公演	
京の芸は百花繚乱			
<p>京都創生座の旗揚げ公演。京都で継承されてきた古典芸能4分野（能、狂言、邦舞、邦楽）を取り上げ、第一線で活躍する豪華出演者が伝統芸能の魅力を伝えました。</p>			
日時 2007年12月15日（土）			
会場 弥栄会館			
演目 邦楽「松竹梅」、邦舞 長唄「洛中洛外」（構成・振付：藤間勘吾）、狂言「因幡堂」、半能「高砂」			
出演 京都三曲協会			
<p>尺八：石道鶴山、岩崎邦童、江藤津童、小川帛山、雲井花山、小松公山、小山菁山、佐々木陽山、笹岡汀山、田原嶺山、高田鑑山、中川稀山、中谷孝童、中塚古童、林芳山、深井游山、深見翔童、松葉悠山、元部瑤山、山副妖山、吉田工山</p>			
<p>三絃：市川佐代子、今西真智子、上野信子、尾江加代子、尾江和恵、河本典子、河野由美子、多田敦子、高井里美、竹中ますみ、飛山彰茶、中島龍和、成田松代、野田弥生、野田友紀、林里嘉子、林龍調、福桜文清、福脇文溪、藤田素子、細谷昌子、宮口順子、吉田幸子</p>			
<p>箏：川田邦恵、小石雅楽和、斉藤雅楽六、実藤雅楽蹊、竹中雅楽洋、龍見雅和歌、中村信子、登尾圭、平林龍典、船野啓子</p>			
日本舞踊 ：猿若英兒、篠塚瑞穂、花柳白梅、坂東温子、藤蔭静枝、藤間勘吾、若柳喜鶴、若柳吉賀聖、若柳金弥、若柳弥生			
長唄 ：杵屋勝六三、杵屋佐喜之、杵屋寿典			
三味線 ：杵屋勝寿治、杵屋浩基、杵屋寿哉			
鳴物 ：中村寿慶、藤舎清鷹、望月清三郎 笛 ：藤舎 華生			
狂言 ：茂山千之丞、茂山あきら 後見 ：丸石やすし			
能 シテ：片山伸吾 ワキ ：原大			
笛 ：左鴻泰弘 小鼓 ：曾和尚靖 大鼓 ：石井保彦 太鼓 ：前川光範			
後見 ：片山慶次郎、味方玄			
地謡 ：河村晴道、分林道治、橋本忠樹、梅田嘉宏、武田大志			
主催 京都市、財団法人自治総合センター			
制作 京都芸術センター			

京都創生座	2007年度	第2回公演	
京の芸は百花繚乱～華競源平絵姿～			
<p>源平にかかわる物語を取り上げ、伝統芸能の分野や流派を越えて交流しながら創作した作品。新作長唄や能と長唄、邦舞の競作を上演しました。</p>			
日時 2008年3月14日（金）、15日（土）（3回公演）			
会場 弥栄会館			
「壺の巻 祇園精舎」 （3月14日）			
演目 新作長唄「祇園精舎」（作曲：杵屋浩基／作詞：中村壽慶）、地歌仕舞「八島」、長唄「賤の苧環」、狂言「那須語」、半能「屋島」			
出演 長唄：杵屋勝彦、杵屋禄人、杵屋勝六三 三味線 ：杵屋浩基、今藤敏之、杵屋寿哉			
鳴物 ：中村壽慶、望月善行、藤舎華生			
三絃 ：野田友紀 箏 ：井口はる菜			
狂言 ：茂山童司 狂言後見 ：井口竜也			
能 ：豊嶋晃嗣、片山伸吾			
ワキ ：小林努			
笛 ：森田保美 小鼓 ：曾和尚靖 大鼓 ：谷口有辞			
後見 ：片山慶次郎、豊嶋幸洋 地謡 ：分林道治、田茂井廣道、大江信行			
「貳の巻 盛者必衰」 （3月15日）			
演目 新作楽劇「俱利伽羅忠度」（脚本：谷口有辞／平山聡子）			
出演 狂言：茂山茂			
能 ：豊嶋晃嗣、浦田保親			
笛 ：森田保美 小鼓 ：林光寿 大鼓 ：谷口有辞			
後見 ：味方團、宇高竜成			
地謡 ：河村晴道、片山伸吾、大江信行、宮本茂樹			
長唄 ：杵屋勝彦 三味線 ：杵屋浩基、今藤敏之			
鳴物 ：中村壽慶、望月善行、望月翔太 箏 ：野田友紀 ゲスト・歌 ：豊嶋起久子			
「参の巻 会者定離」 （3月15日）			
演目 新作長唄「祇園精舎」（作曲：杵屋浩基／作詞：中村壽慶／箏手付：野田友紀）、競作「船弁慶」			
出演 長唄：杵屋勝彦、杵屋禄人、杵屋勝六三 三味線 ：杵屋浩基、今藤敏之、杵屋寿哉			
鳴物 ：中村壽慶、望月善行、藤舎華生、望月翔太 箏 ：野田友紀			
能 ：片山伸吾、味方玄 日本舞踊 ：若柳弥生			
ワキ ：原大 ワキツレ ：有松遼一 アイ ：茂山茂			
笛 ：森田保美 小鼓 ：古田友英 大鼓 ：谷口有辞 太鼓 ：中村壽慶			
後見 ：大江信行、豊嶋晃嗣 地謡 ：浦田保親、味方團、梅田嘉宏、宮本茂樹			
主催 京都市、財団法人自治総合センター 協賛 京セラ株式会社 制作 京都芸術センター			

京都創生座	2008年度	第3回公演	
-------	--------	-------	--

四神記—神降る都の物語—

能、狂言、歌舞伎、邦舞、邦楽を一つの舞台上で構成した新作です。

日時 2009年3月21日(土)

会場 弥栄会館

演出 前原和比古 演出助手 木ノ下裕一

脚本 平山聡子

出演 能：片山伸吾、豊嶋晃嗣、宇高竜成、片山紫乃

歌舞伎舞踊：片岡愛之助 日本舞踊：尾上青楓 狂言：茂山茂

笛：左鴻泰弘 小鼓：曾和尚靖 大鼓：谷口有辞 太鼓：前川光範

長唄：杵屋勝彦、杵屋浩基連中 邦楽囃子：中村壽慶連中

尺八：岡田道明 地歌：野田友紀、北村みゆき

地謡：武田邦弘、古橋正邦、吉浪壽晃、宮本茂樹 後見：味方玄、豊嶋幸洋、大江信行

主催 京都市、財団法人自治総合センター 制作 京都芸術センター

五感で感じる和の文化事業	京都創生座	2009年度	第4回公演
--------------	-------	--------	-------

東京公演

四神記—神降る都の物語—

2008年度に創作した「四神記」を東京で再演。本年度より「五感で感じる和の文化事業」の一事業として活動をはじめました。

日時 2010年2月4日(木)

会場 なかのZERO 大ホール

演出 前原和比古 脚本 平山聡子 振付総括 藤間勘吾 演出助手 木ノ下裕一

出演 能：片山伸吾、豊嶋晃嗣、浦田保親、片山紫乃

歌舞伎舞踊：市川右近 日本舞踊：尾上青楓 狂言：茂山正邦、茂山茂

笛：左鴻泰弘 小鼓：曾和尚靖 大鼓：谷口有辞 太鼓：前川光範

長唄：杵屋勝彦、杵屋勝六三、杵屋三美郎 三味線：杵屋浩基、今藤龍市郎、今藤敏之

邦楽囃子：中村壽慶、藤舎清鷹、望月清三郎、藤舎悦芳 笛：藤舎華生

箏：野田友紀 三絃：秋山麻紀 尺八：岡田道明

地謡：味方玄、吉浪壽晃、分林道治、橋本忠樹

後見：豊嶋幸洋、大江信行、深野貴彦

主催 京都市、財団法人自治総合センター 制作 京都芸術センター

五感で感じる和の文化事業	京都創生座	2010年度	第5回公演
--------------	-------	--------	-------

舞扇要結縁



邦舞と能の実演家を中心となって「舞扇」をめぐる物語を創作。長唄や箏曲も新たに作曲し上演しました。

日時 2010年9月4日(土)

会場 京都府会館第二ホール

演出 前原和比古 演出助手 木ノ下裕一

脚本 平山聡子

詞章 前原和比古、谷口有辞、井口はる菜

出演 日本舞踊：藤間勘吾、若柳吉蔵、若柳弥生

能：味方玄、豊嶋晃嗣、片山伸吾 狂言：茂山正邦、茂山茂

笛：杉信太郎 小鼓：曾和尚靖 大鼓：谷口有辞

長唄：杵屋勝彦、杵屋勝六三 三味線：杵屋浩基、杵屋寿哉

邦楽囃子：中村壽慶、藤舎悦芳、望月善行 笛：藤舎伝生 陰囃子：望月太八一郎

地歌箏曲：野田友紀、井口はる菜 尺八：岡田道明 地謡：味方團、田茂井廣道、河村和晃

能後見：豊嶋幸洋、大江信行、宮本茂樹 狂言後見：井口竜也 日本舞踊後見：若柳勝也

ゲスト(声のみ)：茂山千五郎

主催 京都市 共催 財団法人京都市音楽芸術振興財団

創生座かるてつと



能楽師とドラッグクイーンによる「浸食能」、身振りだけの「サイレント狂言」、地歌箏曲と能仕舞による「地歌仕舞」、邦楽囃子と能仕舞による「創生楽」、4つの新作を創作し上演しました。

日時 2011年8月22日(月)、23日(火)

会場 京都芸術センター 講堂

演目 浸食能「if之段」、サイレント狂言「棒縛」、地歌仕舞「鐘之段」、創生楽「相之段」

演出 前原和比古、鈴木大輔

出演 ドラッグクイーン：nadja、foxy-o

能：片山伸吾、豊嶋晃嗣

狂言：茂山茂、茂山逸平、茂山童司 大鼓：谷口正壽

三味線：杵屋浩基 邦楽囃子：中村壽慶 尺八：岡田道明

地歌箏曲：井口はる菜、野田友紀

トーク：木ノ下裕一(木ノ下歌舞伎主宰)

主催 京都市

制作 京都芸術センター

伝統芸能バリエブル〜キュピキュピと伝統芸能の女たち〜



パリやロンドンなど国内外で映像やインスタレーション作品を発表してきた石橋義正を構成・演出に迎え、古典芸能に生きる女たちを取り上げた新作を創作しました。浪曲や日本舞踊、和太鼓といった芸を通して歴史を身体の内深くに織り込んだ女性たちとの“逢瀬”作品。

日時 2011年10月16日(日)(2回公演)

会場 京都芸術劇場 春秋座

構成・演出 石橋義正

出演 ダンス：高原伸子、高橋千佳、皆川まゆむ パフォーマンス(映像)：青木涼子

能楽：鷲尾世志子、立花香寿子、鶴澤光、高橋奈王子 日本舞踊：尾上京、花柳双子

長唄三味線：杵屋勝欣次、杵屋勝浩菜、杵屋浩扇、上七軒さと幸 浪曲：春野恵子、一風亭初月

和太鼓：田原由紀、大谷加奈子、依田美津穂、小林杏里、井上朋美(打打打団 天鼓)

ビジュアルデザイン 江村耕市 美術 木村真東 映像 キュピキュピ 3D映像 ギャラクシーオペテラー

振付 高原伸子 日本舞踊振付 尾上京 ヘアメイク 針尾清光 特殊メイク JIRO

衣裳デザイン・タイトルデザイン 船引亜樹 衣裳製作 岩崎晶子、チャコット 長唄監修 杵屋勝七郎

テクニカルディレクター 關秀哉 舞台監督 串本和也 照明 川崎渉 サウンドデザイン 丸山正浩

特殊効果 伊井麻登、薬師寺美津秀 日本舞踊衣裳方 堀口和佐子 衣裳管理 佐野寿衛子

企画制作 京都芸術センター、フィッシュヘッズ 主催 京都市 共同制作・共催 KYOTO EXPERIMENT

五感で感じる和の文化事業	京都創生座	2011年度	第7回公演
--------------	-------	--------	-------

邦楽アンサンブル



オーディションで選出した若手邦楽演奏家たちと京都創生座プロジェクトチーム「邦楽メンバー」による公演。

日時 2012年2月29日(水)
 会場 京都芸術センター 講堂
 曲目 「絲竹交響第三番」、「濤声」、「箏三絃二重奏曲」、「TETRAGRAM—四神譜—」(東枝達郎作曲)
 指揮 小石教夫、東枝達郎
 出演 笛：國富雅恵
 尺八：岩本みち子、岡田道明、武林燐山、ハウザー桂堂、松井英山、宮田好夫
 三味線：杵屋浩基、佐々木博代
 箏・十七絃：伊藤美奈子、金子治子、嶋本菜穂子、杉原まち子、檀浦麻記子、野田友紀、星野佳子、松井真砂子、松村友架子、宮口順子、向井裕子、保永奈津、吉村栄美
 打楽器：中村寿慶、林寛
 主催 京都市
 制作 京都芸術センター
 ※関連企画として、「おと」でめぐる四神を2月12日(日)、2月18日(土)に開催。講師：中村寿慶、杵屋浩基、野田友紀、岡田道明。

五感で感じる和の文化事業	京都創生座	2011年度	受託事業
--------------	-------	--------	------

能の流派みくらべ公演
 京都能楽あじくらべ—いちどにたのしむ観世と金剛



札幌市教育文化会館からの受託公演。京都を代表する観世流、金剛流のふたつの能を一度に楽しむ公演です。

日時 2011年6月29日(水)
 会場 札幌市教育文化会館 大ホール
 演目 金剛流能「雪」、観世流能「融 舞返」、大蔵流狂言「呼声」
 出演 観世流：片山伸吾、杉浦豊彦、浦田保親、分林道治、大江信行、田茂井廣道、深野貴彦、梅田嘉宏、河村和晃
 金剛流：豊嶋晃嗣、種田道一、廣田幸稔、今井克紀、豊嶋幸洋、金剛龍謹、廣田泰能、宇高竜成、宇高徳成
 ワキ：江崎敬三 アイ：茂山茂
 笛：竹市学 小鼓：曾和尚靖 大鼓：谷口正壽 太鼓：前川光範
 狂言：茂山正邦、茂山茂、茂山童司、井口竜也
 主催 札幌市教育文化会館 共催 北海道新聞社 協賛 北海道ガス(株)
 制作協力 京都芸術センター

五感で感じる和の文化事業	京都創生座	2011年度	受託事業
--------------	-------	--------	------

京都創生 PR 事業「京あるき in 東京 2012」

京都市が推進する「京都創生」の実現に向けて、首都圏に働きかけ、京都の魅力を発信するプログラムを京都市から受託。能楽の囃子、邦楽の囃子に、三味線、尺八を加えた創作曲で能の仕舞を上演しました。

日時 2012年2月16日(木)

会場 スパイラル3F スパイラルホール

演目 創生楽「相之段」

出演 片山伸吾、谷口正壽、杵屋浩基、中村壽慶、岡田道明

企画制作 京都芸術センター

主催 京都市、京都商工会議所、公益社団法人京都市観光協会、京都創生推進フォーラム

五感で感じる和の文化事業	京都創生座	2012年度	第8回公演
--------------	-------	--------	-------

四神記— 神降る都の物語 —



2008年度に創作した「四神記」(最新版)を京都で再演。

日時 2012年10月26日(金)

会場 京都芸術劇場春秋座

演出 前原和比古

振付総括 藤間勘吾

脚本 平山聡子

出演 能：片山伸吾、豊嶋晃嗣、河村和重、片山峻佑

歌舞伎舞踊：市川右近、日本舞踊：尾上菊之丞 狂言：茂山正邦、茂山茂

長唄：今藤政之祐、今藤小希郎 三味線：杵屋浩基、今藤敏之

笛：左鴻泰弘 小鼓：曾和尚靖 大鼓：谷口正壽 太鼓：前川光範

邦楽囃子：中村壽慶、藤舎清鷹、望月清三郎、望月善行 笛：藤舎華生

箏：野田友紀 三絃：井口はる菜 尺八：岡田道明

地謡：味方玄、吉浪壽晃、分林道治、深野貴彦、宮本茂樹

後見：田茂井廣道、河村和晃、豊嶋幸洋

主催 京都市、京都芸術センター

平成24年度文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業、KYOTO EXPERIMENT2012提携プログラム

五感で感じる和の文化事業	京都創生座	2012年度	海外発信
モスクワ公演	四神記—神降る都の物語—		



邦楽フェスティバル「日本の心」(期間：9月7日～12月23日、モスクワ「日本の秋フェスティバル」内)の招へい公演。プロデューサーはモスクワ音楽院 Margarita Karatygina 准教授。

日時 2012年11月13日(火)

会場 осударственный театр киноактера (国立映画俳優劇場、モスクワ)

演出 前原和比古 脚本 平山聡子

出演 能：片山伸吾、豊嶋晃嗣、種田道一

日本舞踊：若柳吉蔵、尾上菊之丞

長唄：杵屋勝吉治 三味線：杵屋浩基

大鼓：谷口正壽 邦楽囃子：中村壽慶 笛：藤舎華生

箏：野田友紀 尺八：岡田道明

地謡：大江信行、豊嶋幸洋、宇高竜成 後見：尾上菊透

舞台監督 大谷みどり 照明 宮島靖和 附打 松本裕司 音響 大久保歩 映像・記録 鈴木大輔

制作 京都芸術センター

レクチャー 日時：2012年11月15日(木) 会場：モスクワ音楽院

主催 国際交流基金、モスクワ国立音楽院

京都ブランドグローバル展開助成事業

五感で感じる和の文化事業	京都創生座	2012年度	受託事業
京都創生 PR 事業「京あるき in 東京 2013」			

京都市が推進する「京都創生」の実現に向けて首都圏に働きかけ、京都の魅力を発信するプログラムを京都市から受託。狂言と邦楽をあわせた「三番三」を創作し上演しました。

日時 2013年2月4日(月)

会場 丸ビル1F/マルキューブ

演目 京都創生座「三番三」

出演 狂言：茂山茂、島田洋海 笛：森田保美 大鼓：谷口正壽 三味線：杵屋浩基 邦楽囃子：中村壽慶

企画制作 京都芸術センター

主催 京都市、京都商工会議所、公益社団法人京都市観光協会、京都創生推進フォーラム

五感で感じる和の文化事業	京都創生座	2013年度	海外発信
モスクワ公演	長唄—歌舞伎音楽		

2012年度に引き続き、邦楽フェスティバル「日本の心」(「日本の秋フェスティバル」内)の招へい公演。歌舞伎の音楽に焦点を絞り、『松の翁』『二人椀久』『勸進帳』『越後獅子』を演奏しました。

日時 2013年9月14日(土)

会場 モスクワ音楽院 ラフマニノフ・ホール

出演 長唄：杵屋勝吉治 三味線：杵屋浩基、杵屋寿哉、邦楽囃子：中村壽慶、藤舎悦芳

制作 京都芸術センター

主催 日本大使館、モスクワ音楽院世界音楽文化センター



能の流派みくらべ公演
謡う宝生、舞う金剛



能楽の謡を得意とする「宝生流」と、舞で魅せる「金剛流」のふたつの流儀を取り上げ、それぞれ特徴をあらわす演目を上演し、レクチャーでは流儀の違いについて解説しました。

日時 2013年6月26日(水)

会場 札幌市教育文化会館 大ホール

演目 金剛流能「雪」、観世流能「融 舞返」、大蔵流狂言「呼声」

出演 金剛流：豊嶋晃嗣、種田道一、廣田幸稔、豊嶋幸洋、今井克紀、金剛龍謹、宇高竜成、宇高德成、山田夏樹

宝生流：小倉健太郎、三川淳雄、大友順、大坪喜美雄、小倉伸二郎、水上優、和久莊太郎、藤井雅之、野月聡、當山 淳司、佐野弘宣

ワキ：有松遼一 アイ：茂山茂、島田洋海

笛：竹市学 小鼓：成田達志 大鼓：亀井広忠 太鼓：前川光範

狂言：茂山正邦、茂山茂、島田洋海

ゲスト：佐々木晃(佐々木酒造株式会社) ※6月25日(木)レクチャーを開催

主催 札幌市教育文化会館 共催 北海道新聞社

制作協力 京都芸術センター

五感で感じる和の文化事業

「五感で感じる和の文化事業」(2009年度～2016年度)は、「伝統芸能文化センター」に必要とされる機能を具体化したモデル事業として、「京都創生座」(2007年度～2013年度)や「創生劇場」(2014年度～2016年度)といった公演事業だけでなく、伝統芸能みくらべ公演(2013年度)や伝統芸能ことはじめ(2008年度～2016年度)、先覚に聴く(2015年度～2016年度)での観客育成のための講座やレクチャー・トークのほか、月イチ☆古典芸能シリーズ(2013年度～2016年度)では、舞台を裏側で支える職人や伝統芸能文化に係わる工芸技術などの見学ツアーにも力を入れました。

創生劇場

長い歴史に培われた伝統の中に新しい魅力を生み出すべく、既存の分野や流派を越えて独創的かつ意欲的な舞台を創造・展開しました。

伝統芸能ことはじめ

歌舞伎や文楽、落語などの名作を取り上げ、楽しみ方をわかりやすく紹介する講座。2011年度以降は幼少より歌舞伎や落語に親しんできた小林昌廣を連続して講師に招き、シリーズ的に講座を開催しました。

伝統芸能みくらべ公演

伝統芸能が他の分野と出会いみくらべることで、その芸の本質である精神性や構造に迫る公演プログラム。

月イチ☆古典芸能シリーズ

月に一度は、古典芸能に触れ楽しもうという企画。楽器や衣装、道具の製作、演目に縁のあるトピックなど、伝統芸能文化を成り立たせる各要素に着目して、レクチャーやトーク、ワークショップ、ツアー等を行いました。

先覚に聴く

「道」を究めることの本質・真髄を先覚者から学ぶ事業。「先覚」という言葉には、学問や見識が優れている人という意味と、人より先に物事の道理を悟るといふふたつの意味があります。様々な労苦を乗り越え、一つの技芸を追究してきた生き方や、一般の人に伝えたい事などをインタビューや対談形式でお話しました。

五感で感じる和の文化事業	創生劇場	2014年度	受託事業
--------------	------	--------	------

能の流派みくらべ公演
金春流と金剛流～下掛りの極み～



京都に本拠地をおいたとされる観世流と宝生流を「上掛り」、奈良に本拠をおいたとされる金春流、金剛流、喜多流を「下掛り」と総称しています。金春流は古風な型を残したのびやかな所作や拍子にこだわらない自在な謡、金剛流は写実性と“舞金剛”と言われる豪快な舞が特徴です。これらふたつの流儀をみくらべる公演を実施。またレクチャーも開催。

日時 2014年6月12日(木)

会場 札幌市教育文化会館 大ホール

演目 金春流能「加茂」、金剛流能「船弁慶 白波之伝」、大蔵流狂言「清水」

出演 金春流：山井綱雄、中村昌弘、高橋忍、井上貴覚、本田芳樹、金春憲和、本田布由樹、後藤和也、横山紳一、大塚龍一郎、村岡聖美、柏崎真由子

金剛流：豊嶋晃嗣、金剛龍謹、廣田泰能、松野恭憲、豊嶋幸洋、今井克紀、宇高竜成、宇高德成、山田夏樹、惣明貞助

ワキ：小林努、有松遼一、岡充 アイ：茂山茂、島田洋海

笛：竹市学 小鼓：吉阪一郎 大鼓：白坂保行 太鼓：前川光範

狂言：茂山茂、茂山逸平、島田洋海

ゲスト：小林昌廣

主催 札幌市教育文化会館、札幌市教育委員会 企画制作 京都芸術センター 共催 北海道新聞社

五感で感じる和の文化事業	創生劇場	2014年度	受託事業
--------------	------	--------	------

京都創生 PR 事業「京あるき in 東京 2015」

東京・丸の内で開催された、京都の魅力を発信するプログラムにて、能「船弁慶」に邦楽囃子を加えた新しい邦楽仕舞を創作・上演しました。

日時 2015年2月4日(水)

会場 KITTE アトリウム

演目 邦楽仕舞「船弁慶～静御前と平知盛～」

出演 金剛龍謹、豊嶋晃嗣、杵屋浩基、杵屋勝彦、望月清三郎、藤舎伝生

企画制作 京都芸術センター

主催 京都市、京都商工会議所、公益社団法人京都市観光協会、京都創生推進フォーラム

五感で感じる和の文化事業	創生劇場	2014年度
--------------	------	--------

Ophelia Glass - 暗黒ハムレット -





土方巽に師事した山本萌（金沢舞踏館主宰）を演出に、伝統芸能に精通している小林昌廣を脚色に、オフィーリアの視点から「ハムレット」の物語を紡いだ作品。能、狂言、邦舞、浪曲、華道、ダンス、舞踏と幅広い分野の多彩な出演者と、約1ヶ月間のクリエイションを経て、伝統をベースに新たな表現を模索しました。

日時 2015年3月7日（土）

会場 先斗町歌舞練場

演出 山本萌（金沢舞踏館主宰）

脚色 小林昌廣（情報科学芸術大学院大学教授）

原作 ウィリアム・シェイクスピア

出演 ハムレット：若柳吉蔵（日本舞踏家 若柳流家元）

先王／クロードディアス：豊嶋晃嗣（能楽金剛流シテ方）

ガートルート：善竹忠亮（能楽大蔵流狂言方）

フォーティンブラス：笹岡隆甫（華道「未生流笹岡」家元）

レイアーティーズ：山本瑠衣（金沢舞踏館）

蠢くものたち：MuDA（QUICK、内田和成、三重野龍、CHIBIGUTS、田崎洋輔、福島駿）

語り：春野恵子（浪曲師） 演奏：河村大（能楽石井流大鼓方）、新内枝幸太夫（新内弥栄派家元）

演出助手 白榊ケイ（金沢舞踏館） 音・映像デザイン Yuki Hirai

浪曲詞章補綴 くまざわあかね（落語作家） 舞台監督 大谷みどり（京都舞台美術製作所）

主催 京都市、京都芸術センター 制作 鈴木光子（金沢舞踏館）、秋山はるか（MuDA）

平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

五感で感じる和の文化事業

創生劇場

2015年度

受託事業

能の流派みくらべ公演

観喜能 KANKINOH



観阿弥・世阿弥の流れを汲み五流のなかでもっとも繊細・優美、合理的かつ現代的な観世流と、武士式楽を残す気迫をもつ芸風を持ちますが樹立時期が最も新しい喜多流のふたつをみくらべる公演を実施しました。レクチャーも開催。

日時 2015年6月16日（火）

会場 札幌市教育文化会館 大ホール

演目 観世流能「三輪」、喜多流能「小鍛冶白頭」、大蔵流狂言「魚説経」

出演 観世流：片山伸吾、観世喜正、分林道治、浦田保親、浦部幸裕、深野貴彦、武田大志、田茂井廣道、大江信行

喜多流：大島輝久、佐々木多門、塩津哲生、高林伸二、金子敬一郎、友枝真也、内田成信、塩津圭介、佐藤寛泰、佐藤陽、谷友矩

ワキ：福王和幸、福王知登 アイ：茂山正邦、茂山逸平

笛：竹市学 小鼓：曾和尚靖 大鼓：白坂保行 太鼓：前川光範

狂言：茂山正邦、茂山茂、茂山逸平

ゲスト：小林昌廣

主催 札幌市教育文化会館 共催 北海道新聞社 企画制作 京都芸術センター 助成 芸術文化振興基金

Traditional Trial #1

歌舞伎舞踊×西洋音楽



「伝統」と「革新」は表裏一体。創作を通して新たな表現を模索するプログラム。歌舞伎舞踊、西洋音楽であるピアノ、鳴物、長唄で歌舞伎舞踊「高坏」と「藤娘」を創作上演しました。

日時 2016年2月14日(日)

会場 京都芸術センター 講堂

出演 中村かなめ(歌舞伎俳優)

鳴物：中村壽慶、望月善行、中川翔哉、藤舎伝生

長唄：杵屋浩基、杵屋寿哉、今藤政之祐、今藤小希郎

ピアノ：中村圭介

舞台監督 大谷みどり 照明 宮島靖和 音響 大久保歩

主催 京都市、京都芸術センター 企画制作 京都芸術センター

平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

Traditional Trial #2

狂言×中国変面「からくり人形」



日本の喜劇である狂言と、中国・四川省に伝わる伝統芸能「川劇」の一技「変面」を合わせた創作作品。作・演出は若手の新進気鋭の劇作・演出家である村上慎太郎。江戸時代のからくり人形をめぐる大名と詐欺師の物語です。

日時 2016年3月30日(水)

会場 京都芸術センター 講堂

作・演出 村上慎太郎(夕暮れ社 弱男ユニット)

出演 茂山正邦(狂言師)、茂山茂(狂言師)、姜鵬(変面師)、中村壽慶(邦楽囃子方)、

井口竜也(狂言師)

司会 小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)

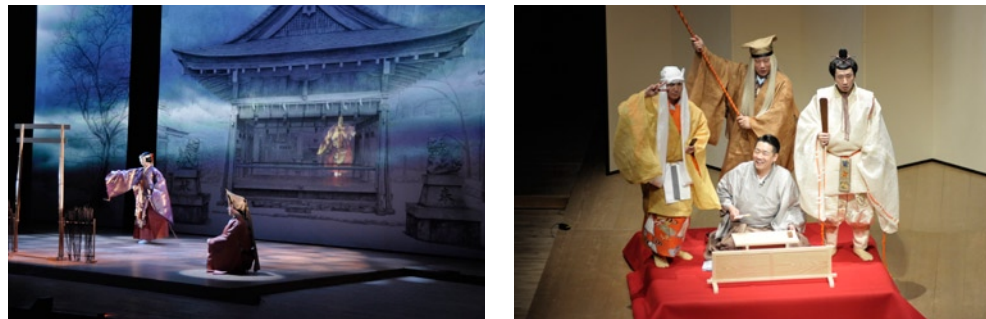
舞台監督 大谷みどり 照明 宮島靖和 音響 大久保歩

企画制作 京都芸術センター 主催 京都市、京都芸術センター

平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

五感で感じる和の文化事業	創生劇場	2016年度	受託事業
--------------	------	--------	------

Traditional Trial ～能、狂言プラス～



能にヤマガミュキヒロの現代美術をプラス。風景を鉛筆や墨などで描画した絵画に、同一視点から撮影した映像を投影する「キャンバス・プロジェクション」という独自の手法をもつヤマガミュキヒロの作品を舞台に配し、能の五演目をオムニバス形式で紡いだ「noh play」。狂言には落語をプラス、人情味あふれる長屋の世界を描きました。

日時 2016年6月22日(水)

会場 札幌市教育文化会館大ホール

能+現代美術 「noh play」～「翁」「高砂」「田村」「野宮」「舍利」より～

シテ：浦田保親、林宗一郎

地謡：浦田保浩、片山伸吾、橋本光史、大江信行、田茂井廣道、深野貴彦、宮本茂樹、河村和貴

ワキ：有松遼一 アイ：島田洋海

笛：竹市学 小鼓：曾和鼓堂 大鼓：河村大 太鼓：前川光範

現代美術：ヤマガミュキヒロ

狂言+落語 「神棚」(小佐田定雄作/茂山茂演出)

辰・番頭：桂よね吉

神様(夫)：茂山茂 神様(妻)：茂山童司 神様(姑)：茂山正邦 後見：島田洋海

鳴物：桂鯛蔵、桂二葉 三味線：豊田公美子

舞台監督 尾崎要(アクトコール株式会社)

主催 札幌市教育文化会館

共催 北海道新聞社

協賛 株式会社サインアーテック・ニューリー株式会社

企画制作 京都芸術センター 制作協力 Gallery PARC

五感で感じる和の文化事業	創生劇場	2016年度	
--------------	------	--------	--

やわらかなかぐら



演出に杉原邦生、脚本にいしいしんじ、振付に我妻恵美子を迎え、新しい形式の「かぐら」として古代と現代、未来の入り交じった村に住むこどもたちの物語を創作上演しました。出演者は、伝統芸能の各分野や諸流派から選出。加えて、オーディションで選考した21名の「こどもたち」が演じました。

日時 2016年11月26日(土)

会場 ロームシアター京都 サウスホール

演出 杉原邦生(KUNIO)

脚本 いしいしんじ(小説家)

振付 我妻恵美子(大駱駝艦)

脚色 小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)

出演 狂言：茂山良暢、山口耕道

森田真和、田中真之

大駱駝艦(高桑晶子、鉦久奈緒美、藤本梓、梁鐘響、伊藤おらん、齋門由奈)、岩下徹(山海塾)

芦谷康介、池川タカキヨ、稲森明日香、河合厚志、川口航、木崎ゆい、桑室帆、私道かび、鈴木明日香、

諏訪七海、高原綾子、谷口美咲子、長南洗生、辻優力、富田文子、西村愛香、菱川裕子、藤井清之介、

松岡美樹、村上さくら、渡邊瞳

箏曲：横山佳世子、伊藤美奈子、原妙、芦田拓也 能管：左鴻泰弘

作曲 Taichi Master

演出助手 本間広大(ドキドキばーいず) 舞台監督 浜村修司 照明 魚森理恵 音響 小早川保隆

衣裳 清川敦子(atm)、伊丹悠華、古山美音羽、松田ちはる、ライラ未遊 宣伝美術 関川航平

企画制作 京都芸術センター

主催 京都市、京都芸術センター、ロームシアター京都

平成28年度文化庁文化・芸術による地域活性化・国際発信推進事業

伝統芸能ことはじめ



2008年度 伝統芸能ことはじめ その1「観世流と金剛流」

日時 2009年2月26日(木)
 会場 京都芸術センター フリースペース
 出演 片山伸吾、古橋正邦、大江信行、豊嶋晃嗣、廣田幸稔、宇高竜成、茂山茂、左鴻泰弘、
 曾和高靖、谷口有辞、前川光範

伝統芸能ことはじめ その2「長唄と地歌」

日時 2009年3月5日(木)
 会場 京都芸術センター フリースペース
 出演 杵屋勝彦、杵屋勝六三、杵屋浩基、今藤敏之、中村壽慶、藤舎悦芳、藤舎華生、野田友紀、
 北村みゆき、岡田道明、井口はる葉

伝統芸能ことはじめ その3「公開稽古とみどころプレトーク」

日時 2009年3月12日(木)
 会場 京都芸術センター フリースペース
 出演 片山伸吾、豊嶋晃嗣、宇高竜成、茂山正邦、茂山茂、左鴻泰弘、曾和高靖、谷口有辞、
 前川光範、杵屋勝彦、杵屋勝六三、杵屋浩基、今藤敏之、中村壽慶、望月大明之、藤舎清鷹、
 藤舎華生、岡田道明、野田友紀、北村みゆき、前原和比古、平山聡子、大谷みどり

主催 京都市・財団法人自治総合センター

2009年度 伝統芸能ことはじめ 道成寺

「道成寺」という物語を切り口とした、さまざまな芸能の特色や楽しみ方についての講演を行った
 ほか、ワークショップ、展示を通じて「道成寺」の魅力を紹介しました。

Vol.1 知る講座「演目で知る道成寺」

日時 2010年2月10日(水)
 会場 京都芸術センター 大広間
 講師 森西真弓(大阪松陰女子大学教授/『上方芸能』編集代表)

Vol.2 体験ワークショップⅠ「日本舞踊」

日時 2010年2月17日(水)
 会場 京都芸術センター フリースペース
 講師 藤間勘吾(日本舞踊家)

Vol.3 体験ワークショップⅡ「義太夫節」

日時 2010年2月24日(水)
 会場 京都芸術センター 和室「明倫」
 講師 竹本相子大夫(義太夫節大夫)、鶴澤清公(義太夫節三味線)

Vol.4 企画展「伝統工芸品にみる道成寺」

日時 2010年3月1日(月)～11日(木)
 会場 京都芸術センター フリースペース
 内容 「道成寺」をテーマに、工芸品展示や映像上映、装束や扇と合わせて日本舞踊で用いる吊鐘
 なども展示しました。

Vol.5 展覧会関連イベント 講演「釣鐘物語」

日時 2010年3月11日(木)
 会場 京都芸術センター フリースペース
 講師 小野俊成(道成寺副住職)

2010年度 伝統芸能ことはじめ一松と桜

「松」と「桜」をテーマに、講座とワークショップの形式で伝統芸能および文化を紹介しました。

vol.1 知る講座「名作から知る伝統芸能の楽しみ方」

「菅原伝授手習鑑」に代表される古典の名作を取り上げ、伝統芸能の楽しみ方を伝授しました。
 日時 2月12日(金)
 会場 京都芸術センター 和室「明倫」
 講師 小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)

vol.2 体験ワークショップⅠ「いけばな」

いけばなの基本を学び、松や桜を使った生け花を体験しました。
 日時 2月19日(金)
 会場 京都芸術センター 大広間
 講師 京都いけばな協会

Vol.3 体験ワークショップⅡ「箏」

お箏の基本を学び、「さくらさくら」等を演奏するワークショップを開催しました。
 日時 2月20日(土)
 会場 京都芸術センター 大広間
 講師 京都三曲協会

2011年度～2016年度 伝統芸能ことはじめ 一名作から知る伝統芸能の楽しみ方

- 2011年度 ①「菅原伝授手習鑑」/②「曾根崎心中」/③「助六由縁江戸桜」/④「京鹿子娘道成寺」
 ⑤「仮名手本忠臣蔵」/⑥「義経千本桜」
 2012年度 ⑦「人情断文七元結」/⑧「春興鏡獅子」/⑨「夏祭浪花鑑」/⑩「番町皿屋敷」
 ⑪「仮名手本忠臣蔵 四段目・七段目」/⑫「傾城反魂香」
 2013年度 ⑬「身替座禅」/⑭「らくだ」/⑮「藤娘」/⑯「本朝廿四孝」/⑰「仮名手本忠臣蔵」
 ⑱「壽曾我対面」
 2014年度 ⑲「芝浜の革財布」/⑳「梶原平三誉石切」/㉑「鯛賣戀曳網」/㉒「東海道四谷怪談」
 ㉓「道行初音旅 道行旅路の花罨」/㉔「仮名手本忠臣蔵～九段目・山科閑居～」
 2015年度 ㉕「勸進帳」/㉖「国性爺合戦」/㉗「天守物語」/㉘「実盛物語」/㉙「黒塚」/㉚「元禄忠臣蔵」
 2016年度 ㉛「曾根崎心中」/㉜「義経千本桜」/㉝「木ノ下歌舞伎」/㉞「舞踊ア・ラ・カルト」
 ㉟「一谷嫩軍記～熊谷陣屋」/㊱「妹背山女庭訓」

※2011～2016年度 講師：小林昌廣

主催 京都市、京都芸術センター 共催(2016年度のみ) ロームシアター京都

伝統芸能みくらべ公演



日時 2014年3月20日(木)、21日(金)、23日(日)

会場 京都芸術センター 講堂

① 能とコンテンポラリーダンスをみくらべる

演目 舞囃子「松風」、仕舞「松風」

出演 能：河村晴道、味方團、田茂井廣道、深野貴彦

笛：竹市学 小鼓：吉阪一郎 大鼓：河村大

ゲスト：伊藤キム(振付家・ダンサー)、寺田みさこ(振付家・ダンサー)

司会 志賀玲子(舞台芸術プロデューサー)

② 寄席と色物をみくらべる

出演 露の都(落語家)、内海英華(寄席囃子三味線/女道楽師)

三味線：入谷和女 鳴物：笑福亭喬介、露の眞

司会 小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)

③ 舞と踊りをみくらべる

演目 長唄「座敷舞道成寺」より「山尽くし」、長唄「奴道成寺」より「山尽くし」、地唄「靱猿」、長唄「外記猿」

出演 山村若(山本流六世宗家)、若柳吉蔵(若柳流五世宗家)ほか

長唄 唄：今藤政之助、杵屋喜三郎 三味線：杵屋浩基、杵屋寿哉 地唄：菊原光治

鳴物：藤舎清鷹、望月左之丸、望月善行 笛：藤舎伝生

司会 小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)

主催 京都市、京都芸術センター

平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

月イチ☆古典芸能シリーズ



- 2013年度
- ① 小鼓ってなに? 講師 曾和尚靖(能楽幸流小鼓方)、田茂井廣道(能楽観世流シテ方)
 - ② 装束・面を知る～虫干しツアー～ 講師 河村晴道(能楽観世流シテ方)、茂山正邦(大蔵流狂言師)
 - ③ 三味線ってなに?～製作過程を知る展覧会・レクチャー・公開稽古～
司会 竹内有一(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター 准教授)
講師 今井善一、今井伸治、野中智史(今井三絃店)
杵屋浩基、杵屋寿哉、杵屋勝吉治、中村壽慶
 - ④ 能面～写しの心を知る～ 講師 岩井彩(能面師)
 - ⑤ 顔見世を知る～まねき看板を通して～ 講師 川勝清歩(書家)
聞き手 西村彰朗(演劇評論家)
 - ⑥ 島原文化を知る～輪違屋を通して～ 講師 高橋利樹(輪違屋十代目当主)
 - ⑦ 紙切りで鏡もちをつくろう! 講師 林家笑丸(落語家)
 - ⑧ 大鼓ってなに?流派のちがいは? 講師 白坂信行(能楽高安流大鼓方)、谷口正壽(能楽石井流大鼓方)、宇高竜成(能楽金剛流シテ方)
- 2014年度
- ⑨ 伝統芸能みくらべアフタートーク 講師 小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)
 - ⑩ 顔師を知る 講師 和田恵一(顔師)
 - ⑪ 鳴物を聴く～お囃子からオペラまで～ 講師 中村壽慶(邦楽囃子方)、中村圭介(ピアノ)
 - ⑫ 喜世留文化を知る 講師 谷川清三(谷川清次郎商店) 進行 小林昌廣
 - ⑬ 鷺舞を知る 講師 茂山あきら(大蔵流狂言師) *台風のため中止
 - ⑭ 狂言方を知る 講師 堀本昭浩(狂言方)
 - ⑮ 香りと日本人 講師 畑正高(香老舗松栄堂主人)
 - ⑯ 白拍子を知る 講師 石原さつき(日本今様舞楽会)
 - ⑰ まねき看板と顔見世 講師 井上優(書家)、聞き手 西村彰朗(演劇評論家)

- ⑱ 寄席囃子を知る 講師 桂二乗(落語家)、桂小鯛(落語家)、豊田公美子(三味線)
- ⑲ 遊びを知る～かるたを通じて～ 講師 前田直樹(大石天狗堂九代目代表取締役)
- ⑳ 古典と舞蹈の身体論 講師 山本萌(金沢舞踏館)、若柳吉蔵(若柳流五世宗家家元)、小林昌廣
- ㉑ いけばなの心を知る 講師 中野恭心(華道本能寺家元華務長)
- 2015年度 ㉒ 新内節を知る 講師 新内枝幸太夫(新内弥栄派家元)
- ㉓ 鳴物を聴く～応用編～ 講師 中村壽慶(邦楽囃子方)、中村かなめ(歌舞伎俳優)、中村圭介(ピアノ)
- ㉔ 祇園囃子を知る 講師 木村幾次郎((公財)祇園祭山鉦連合会理事/長刀鉦囃子方)
- ㉕ 鷺舞を知る 講師 茂山あきら(大蔵流狂言師)
- ㉖ お化け屋敷を知る 講師 堤邦彦(京都精華大学教授)、縣季男(京都舞台美術製作所代表取締役)
- ㉗ 元興寺(ガンゴウジ/ガゴゼ)を知る 講師 辻村泰善(真言律宗元興寺住職/(公財)元興寺文化財研究所理事長)
- ㉘ 緞帳を知る 講師 脇田常弘、辻本憲志((株)川島織物セルコン)
- ㉙ 漆と食～器から見る食文化～ 講師 三木啓樂(漆工芸家)
- ㊀ 絃を知る 講師 小篠敏之(株式会社鳥羽屋代表取締役)
- ㊁ 祭礼と古典～植物を通じて～ 講師 市忠顕(上賀茂神社社家)
- ㊂ 殺陣を知る 講師 劇団ZTON、平宅亮(殺陣師)
- ㊃ お祓いを知る 講師 野村明義(八坂神社 禰宜)
- 2016年度 ㊄ 大向うを知る 講師 岩城重義(歌舞伎大向初音会会長)
- ㊅ 能の三流派を知る 講師 片山伸吾(能楽観世流シテ方)、豊嶋晃嗣(能楽金剛流シテ方)、山井綱雄(能楽金春流シテ方)
- ㊆ 茶歌舞伎を知る 講師 谷口郁男(宇治茶師)
- ㊇ We Love 'Kotengeinou' ～海外から見た和の文化を知る～ 講師 マシュー・ショアーズ(ケンブリッジ大学アジア・中東学部助教授)
- ㊈ 地獄絵を知る 講師 西山克(関西大学文学部教授)、瀬戸信行(クラリネット)、田島隆(タンバリン/ギター)
- ㊉ 古の色を知る 講師 吉岡更紗(染司よしおか 染織家)
- ㊊ 嵯峨大念仏狂言を知る 講師 加納敬二(嵯峨大念仏狂言保存会事務局長)
- ㊋ 雅楽を知る 講師 藤村正則(京都千年楽舎代表)
- ㊌ 踊り念仏を知る 講師 相原進(立命館大学産業社会学部/四天王寺大学人文社会学部非常勤講師)
- ㊍ 書の心を知る 講師 真神仁宏(巍堂)(京都教育大学名誉教授)
- ㊎ 式庖丁を知る 講師 小西将清(有職料理 萬亀楼十代目主人/生間流式庖丁三十代目 生間正保)
- ㊏ 発酵を知る 講師 佐藤健司(京都大学大学院農学研究科教授)

主催 京都市、京都芸術センター 共催(2016年度のみ) ロームシアター京都



五感で感じる和の文化事業

先覚に聴く



第1回(2015年度)

日時 2015年10月10日(土)
 会場 京都芸術センター 大広間
 出演 竹本住大夫(文楽・太夫/人間国宝)
 米川文子(生田流箏曲/人間国宝)
 司会 小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)

第2回(2016年度)

日時 2017年3月25日(土)
 会場 京都芸術センター フリースペース
 出演 本阿彌光洲(光意系本阿彌家十八代/人間国宝)
 南登美子(ミナミ美容室三代目/有職美容師)
 司会 小林昌廣(情報科学芸術大学院大学教授)

主催 京都市、京都芸術センター

平成26、27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

伝統芸能文化センターの実現を目指して
2007年度から2016年度の取組

発行 伝統芸能文化アーカイブ&リサーチオフィス
〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2
京都芸術センター内
Tel.075-255-9600 (代表213-1000)
Fax.075-213-1004
Mail. taro@kac.or.jp

<http://www.traditional-arts.org/>

